



# みんなのひろば

# 吉



橋井 恭一  
(陣構)

有機栽培を  
始めて15年

陣構茶生産組合では、5月24日に毎年恒例の第18回大山新茶まつりを開催しました。当日は天候にも恵まれ、たいへん多くのお客様がお越しになりました。

陣構茶生産組合では、殺虫剤や除

草剤などの農薬や、化学肥料を一切使わない有機栽培の認証を取得して約15年。また、3年前から農福連携事業で、社会福祉法人祥和会「小竹の郷」と連携し、鳥取県が実施する有機JAS講習会にも同席してもらい、

一緒に勉強し、日々手作業による草取りを実施して現在に至っています。新茶まつりでは、お客様に安心で安全な新芽を思い思いに摘み取ってもらっています。帰ってから手作り煎茶や番茶、紅茶、天ぷらやおひたしにして食べるので、たいへん満足しておられました。来年も第19回大山新茶まつりが盛大にできるよう、従業員一同、身を引き締めて努力する所存であります。



清水 進  
(前)

はじめての選挙

このたび、18歳から選挙権が与えられることになりました。

このニュースを聞いて、私が21歳のとき初めて投票した町議会議員選挙のことを思い出しました。当時は投票率も高く確が90%近くで、投

票は権利ではなく義務のようなものでした。

選挙になると、私のところにも数人の候補者が来られました。が、あまりのじやくの私はとても抵抗を感じました。議員の方から、こういう仕事を

させてくださいと頼むものではなく、我々からこういう仕事をしてくださいと頼むものだと思つたからです。あれから40数年、このごろの投票率は50%にも満たない時もあり、これでは国民の声が政治に反映されると思えません。せめて新しく18歳から選挙権を得る若者には、ぜひ投票に出かけてもらいたいと願うばかりです。ちなみに私はこれまで一度も棄権していません。



西本 光子  
(北御崎)

幸せへの選択

私が大山町にやってきたのは、東日本大震災の年。スーパーからは物が消え、余震が続く毎日。いつかは田舎で暮らし、豊かな自然の中で子育てしたいと思っていたので、出産を機に「子育て王国」として「へ」と移住しました。

東京の狭いマンションとは違い、広々とした古民家。海の幸に山の幸。豊かな自然においしい水。都会とは違い隣の人の顔が見え、声も聞こえてくる。物々交換に井戸端会議、古き良き時代の温かな人と人とのつながりが残って

いて、知り合いがほとんどいなかった私にも、いつの間にか「すてきな仲間」ができ、役割が与えられ、自分の居場所ができました。ここにはないものもありますが、その分チャンスに溢れていて、創り出す喜びがあります。私は大山町の四季折々の景色が大好きです。これからも豊かな自然とともに日々を大切に暮らしたいです。

## 夕陽と御来屋漁港

### あとかぎ

委員会構成の交替があり、3人の女性常任委員長が誕生しました。女性議員が少ないなか、県下では初めてだと思います。

出張版「議員と語る会」を前集落で開催しました。皆さんの集落でも、ぜひ開ければと思いますので、お気軽にお声かけください。

議会情報の発信をフェイスブックでも行うこととし、8月から広報常任委員会が担当します。

このように本町議会が、より開かれた、住民に身近な議会となるよう工夫をしていきたいと思つています。

議長 野口俊明

#### 【発行責任者】

議長 野口 俊明

#### 【広報常任委員会】

- 委員長 米本 隆記
- 副委員長 圓岡 伸夫
- 委員 近藤 大介
- 委員 大杖 正彦
- 委員 大原 広巳
- 委員 加藤 紀之